



# 大宮の声を市議会に!

## 吉田一郎 市政レポート

市議員 (無所属)

2023年  
5月特別号

〒331-0814  
北区東大成町2-60-4  
TEL & FAX 048-651-5733  
携帯 080-5654-0038  
no\_saitama@hotmail.com

発行：やっぱり大宮市民の会 カンパは郵便振替口座 00190-9-595032 口座名義：やっぱり大宮市民の会

### 5月臨時会

## 大宮・与野・浦和・岩槻で請願を共同提出

# 政務活動費の受け取り自粛を審議

さいたま市議会では年間1355万円の議員報酬に加えて408万円の政務活動費が支給されます。全国的に不正使用が続いていますが、今回の市議選では「政務活動費の廃止」を掲げた議員が旧4市ごとに4人当選。5月臨時会では「今年度の政務活動費を受け取らないよう求める請願」を紹介議員として共同提出しました。

さいたま市の政務活動費は、04年に「政令指定都市になった」だけ理由に、240万円から7割アップ。当時議員でなかった私は浦和の市役所前で3日間のハンガーストライキ(絶食抗議)をしました。自民から共産まですべての議員が賛成して可決されました。05年に合併した岩槻の議員は「さいたま市になった」というだけの理由で、年間24万円から17倍の408万円になったのです。

私は07年の初当選以来、政務活動費を受け取らずに議員活動を続け、15年には川村準議員(南区)が加わりました。

一方でおかしな使い方をした議員には、住民監査請求や住民訴訟で返還を要求したり、事務所の清掃費を母親に支払っていた自民党議員を告発したり、民主党の「海外グルメ視察」

### 廃止掲げた強力な援軍

#### 「岩槻の御老公」登場

今回の市議選では、私と川村議員の他に「政務活動費を受け取らない」と宣言した議員が新たに2人当選しました。中村淳一議員(中央区)と佐藤征治郎議員(岩槻区)です。

### 佐藤議員はさいたま市議

としては「83歳の新人」ですが、71年から岩槻市議や県議を経て、98年には岩槻市長に就任。さいたま市との合併で岩槻市が消滅すると、07年から政務活動費を受け取らずに再び県

議を2期務めた大長老です。5月臨時会では、今年度の政務活動費を受け取らないよう求める市民からの請願を4人が紹介議員になって共同提出し、2日の本会議で審議されました。

### これまでに実現した改革

- 政務活動費の市への返還
- 6人から計13万8657円
- 政務活動費での海外視察
- 13年度以降は根絶
- 政務活動費の運用指針の改正
- 親族への支払い禁止
- 後援会や政党活動と区別がつかない支出は上限50%に
- 領収書のネットでの公開
- 19年度より実施

### 市民の税金横流しせず市の財政に戻すべきだ

私は選挙で「議員報酬の2割カット」「実現するまでは自主的に被災地へ寄付」を掲げた維新の議員に対し、報酬カットには賛同するが、市民はさいたま市民のために使ってほしいと市民税を納税しているのであり、維新が勝手に選んだ被災地に市の税金を「横流し」するのはおかしいと指摘。報酬カットが実現するまでは我々とともに政務活動

費を受け取らず、その分の税金をさいたま市の財政に戻すよう呼びかけました。立憲と共産は「政務活動費は必要だ」と反論しましたが、自民・公明と維新は無言のまま反対し、請願は否決されました。

7人の無所属議員のうち、政務活動費を使いたい3人は、10日に新会派「無所属みらい」を結成しました。私は今後も4人で協力して不正の温床「政務活動費の実態を暴き続け、廃止を目指して頑張ります」。

## 大会派による談合政治の打破めざし議長選に初の「正式」立候補

5月1日の臨時会冒頭では、議長選が行われました。どの議員の名前を書いて投票しても良いのですが、4人以上の推薦人がいると正式な「候補者」となり、投票前に議長選の公約などの所信表明を述べる必要があります。私は清水与党や共産党以外の6人の推薦人を得て、初めて議長選に正式出馬し、「談合による議長らしい回し」の一掃を訴えました。

### 数か月毎に議長交代 談合紛糾で深夜まで

さいたま市議会では、議長は1人を除き合併以来第1党の自民党から選出されてきました。

自民党の議員にとっては、「議長になって園遊会に招かれ、天皇陛下とお会いしている写真を撮ってもらい、

自宅に飾ること」が花道のよつです。

そこで事前に公明や立憲(改選前は民主改革)と水面下で話し合い、議長は自民、副議長は公明か立憲から候補を擁立してきました。この「談合人事」以外で推薦人を集められたのは共産党だけでした。市役所移転を巡り17年に

議長は任期は次の選挙まで最大4年間ですが、自民党議員のほとんどが議長になりましたが、通常は1〜2年で交代してきました。

しかし「次の選挙で引退するから議長になりたい」「落選しそだったから議長に」

と、この2年間は最大会派の立憲も含めて数か月ごとに議長が変わり、そのたびに夜中まで審議がストップしました。

自民大宮派が昨年12月に強引に議長に推した77歳の中島隆一議員(中央区)は、2月議会は初日だけ出席した後、「体調不良」でずっと欠席し、公務に復帰したのは4月になってからという状態でした。

### 政務活動費の精査を訴えたら維新が棄権

今回の市議選では無所属議員が7人に増え、維新も初めて議席を獲得しました。

そこで私は議長選を巡って繰り返される大会派の談合や紛糾に終止符を打つべく、「選挙で最多得票だった議員が議長になってもいいはずだ」と、無所属や維新など6人の推薦を得て議長選に正式立候補しました。

議長選の結果	
江原大輔 (自民大宮派・岩槻区)	40
久保美樹 (共産党・桜区)	9
吉田一郎 (無所属・北区)	4
高柳俊哉 (立憲・中央区)	1
帆足和之 (自民浦和派・浦和区)	1
無効票	4
欠席	1
副議長選の結果	
神坂達成 (公明党・緑区)	44
川村 準 (無所属・南区)	9
松村敏夫 (共産党・緑区)	6
欠席	1

私は「無所属議員として16年前から会派に入らず活動して来たからこそ、中立・公正な議会運営ができる」と訴えました。

私はこれまでの信念は貫きつつ、「議会正常化」に向けて取り組んでいきます。

**吉田一郎** 電気代は何%上がったのか。  
**福祉総務課長** 厳密に把握していない。  
**吉田一郎** 総務省発表の4月の消費者物価指数では、電気代は前年同月比で7.9%下がっている。  
**福祉総務課長** 電気代は下がっているが、電気・ガス・

給付金の効果を確かめたいまま、今回で12回もバラ

生活保護4人世帯に164万円も給付金

**さいたま市の生活保護支給額**  
 (冬季、住宅扶助・教材費込み)

- 40歳代単身の場合 月額12万4680円
- 30歳代夫婦+小学生2人の場合 月額27万5310円
- 40歳代の鬱病の母親と小学2人、中学1人の母子世帯の場合 月額32万7320円

**他に支給されるもの**  
 医療扶助 (医療費、通院交通費、入院日用品、眼鏡)  
 教育扶助 (学校給食費、修学旅行費)  
 介護扶助 (介護サービスの自己負担分)  
 出産扶助 (出産費、オムツ・ミルク)  
 生業扶助 (技術習得費、スーツ、高校授業料・通学費)  
 葬祭扶助 (死亡診断書、運搬料、火葬料)  
 融時扶助 (子供服、布団、家具、引越し、敷金礼金等)

**無料になるもの** 各種税金、年金、認可保育所、放課後児童クラブ、水道基本料、下水道、粗大ごみ、市営霊園、住民票や戸籍の発行手数料、訪問入浴、NHK受診料など  
 ※JRの通勤定期は3割引  
 ※年末には期末一時扶助(ボーナス)を支給

**吉田一郎** 資産割を導入し

私は5月2日の本会議で

**国保税の年間負担額 (4月より)**

給与収入	単身	夫婦+小学1人
297万円	24万1500円	34万0700円
430万円	36万0000円	45万9200円
555万円	47万8500円	57万7700円
895万円	83万4000円	93万2100円

※被保険者が40~64歳の場合

市は国の方針で低所得の子育て世帯を対象に子ども1人につき5万円を支給。また国の交付金を活用し、住民税非課税世帯に「電力・ガス・食料品等価格高騰重点支援給付金」を3万円支給すると補正予算を提出。5月2日の予算委員会で審議しました。

食料品を総合的に勘案し、支給は妥当と考えている。  
**吉田一郎** 国民全員に10万円を配った他に、過去3年間の給付金の回数は?  
**福祉総務課長** 低所得世帯を対象に過去2回、子育て世帯対象は過去7回。  
**吉田一郎** 給付金を10回配って何に使ったとか、子どものために何を買ったとか、効果を検証したのか。  
**福祉総務課長** 行っていない。  
**吉田一郎** 対象者100人に1人でもアンケートを取ったらどうか。  
**福祉総務課長** 今のところ実施は考えていない。

進んだと指摘。

保護費は物価に連動して10月に増額が決まっています。各種税金や医療費などが無料なことを考えると、4人世帯が果たして「低所得」なのかも疑問です。私は子育て給付金は子どものために使うようきちんと指導することを要望するとともに、働いて納税している人が馬鹿を見ないように強く求めました。

4月から国保税が7年連続で値上げされ、均等割が3900円上がりまし

竹内福祉局長 固定資産税額をもとに算定していた。

また資産割は固定資産(不動産)だけでなく、金融資産も算定に入れることができるよう、国に働きかけるべきだと訴え、国保税の値上げに反対しました。

# 3年間で12回目!? 効果をまったく確かめずに給付金バラマキは見直しを

す。そこで私は2日の本会議で確認しました。

竹内福祉局長 法的に可能

# 7年連続で国保税値上げ 資産割で現役世代の負担軽減を

竹内福祉局長 19市町

●回覧板の電子化を促進するため具体的に提案  
 市内には841の自治会がありますが、加入率は減少が続き14年度の66.6%から21年度は60.3%になりました。1人暮らしや共働き世帯にとって回覧板は夜まで放置状態になります。市では22年度から2つの自治会で回覧板電子化のモデル事業を始め、スマホにアプリをダウンロードして閲覧する形を試験実施しています。2月10日の市民生活委員会で状況を確認しました。

吉田一郎 スマホがない世帯はどうするのか。  
**市民生活部長** 紙の回覧板の継続を考えている。  
**吉田一郎** じゃあ9割の世帯がアプリをダウンロードしたら、高齢者などスマホのない世帯は隣の家に回していた回覧板を、10軒先まで届けるようになるのか。  
**市民生活部長** 今後どうしていくか検討したい。  
**吉田一郎** 回覧板で自治会からのお知らせは1~2割で、残りは学校や公民館、市やその他の団体の広報物だが、誰が電子データにするのか。  
**市民生活部長** 現在のモデル事業では、例えば写真に撮ってデータ化するように対応している。  
**吉田一郎** 自治会の手間がかかりすぎる。広報物を出す団体にPDFなど電子データでの提供を要請すべきだ。  
**市民生活部長** 今後の検討として考えていく。  
**吉田一郎** 回覧板を電子化するのなら、自治会費や共同基金の集金もスマホ決済にしたらどうか。  
**市民生活部長** 研究しながら自治会に情報提供する。  
**吉田一郎** 回覧板も集金もスマホで行えば区長や班長の仕事はほとんどなくなる。区や班の統廃合や廃止をすれば、会員は楽になるのではないかと。  
**市民生活部長** 自治会の運営には状況の変化を認識しているため、今後の運営方法を研究していきたい。

このペースでは回覧板の電子化が各自治会に普及するまで一体何年かかるのかわかりません。自治会は地域行事の運営やゴミ集積場の管理、災害時の対応など地域社会の維持に大きな役割を果たしています。1人暮らしや共働き世帯も加入しやすくする新たな運営形態を、市は積極的に提案していくべきです。

●消防車の交通事故で安易なお詫びは逆効果  
 1月31日朝、西区で火災発生の通報を受けた大宮消防署の消防車が、赤信号だった上小町の交差点をサイレンを鳴らしながら徐行で通過しようとしたところ、横から来た乗用車と衝突。乗用車を運転していた61歳の男性が全身打撲で入院し、消防隊員2人も負傷しました。結局この通報は報知器の誤作動で、火災は発生していませんでしたが、大宮消防署長はマスコミに対して「市民の方を負傷させたことについて、深くお詫びします。今後、安全運行の徹底、交通事故の再発防止に努めてまいります」とコメントを発表し、報道されました。消防車などの緊急車両がサイレンを鳴らしながら交差点を通過する時には、信号に関わらず他の車は道を譲らなければならないはずで、一体なぜ「お詫び」するのか、2月10日の市民生活委員会で問い質しました。

警察はどちらが悪いと判断しているのか。  
**警防部長** 現在も調査中で、事故原因や過失判断の段階には至っていない。  
**吉田一郎** 緊急車両がサイレンを鳴らして来た場合、他の車は青でも道を譲らなければならない法令はあるか。  
**警防部長** 交通法令で一般車両は緊急車両に道を譲らなくてはならない決まりになっている。  
**吉田一郎** 交通法令を無視した相手の車が全面的に悪いのに、安易なお詫びをしたら緊急車両に道を譲らない車を増やすのではないかと。きちんと「遺憾です。緊急車両には道を譲ってください」と言うべきだ。  
**警防部長** 今後、報道発表のコメントは、その影響も十分考慮して適正に発信できるように努めていく。

今回の通報は誤報だったからいいようなものの、もし大火事で消防車の到着が遅れたら大変でした。安易なお詫びは憤むように徹底すべきです。

竹内福祉局長 均等割(加入者全員から一律金額を徴収)と所得割で算出しますが、合併前の野市は資産割もありました。私は5月2日の本会議で

現行の均等割と所得割では、子どもがいる現役世代の負担が大きくなります。一方で、株や債券、預金などで多額の資産を持っている年金暮らしなどで収入が少なければ、国保税の負担は軽くなっています。私は2日の本会議で、年



2023年度  
予算審議

# 県内で12番目に高く44億円の 水道料金の抜本的な値下げを提案

他市から引越してきた人に「さいたま市は水道料金が低い」と言われます。実際に県内で12番目に高く、しかも新年度は43億5400万円の黒字を見込んでいます。私は3月3日の本会議で料金値下げを求めました。



吉田 一郎 議員

さいたま市の水道水の大部分は、県が大久保浄水場で荒川から取水した水を購入しています。県が各市町村に販売する水道水の「卸値」は県内均一で、各市町村はこれに経費などを上乗せして水道料金「小売値」を設定し、各家庭に給水しています。私は昨年度の決算審査で県内全市町村の水道料金を公開させたところ、さいたま市は12番目に高く、本庄の1・82倍の料金を徴収していることが判明しました。全国の政令指定都市でも4番目に高く、大阪の1・66倍です。さいたま市は新年度、県などから94億円で購入した水を、市民に295億円で販売し、配水経費や修繕費(111億円)、業務費(24

億円)などを差し引いても43億5153万円もの黒字が見込まれています。さいたま市の水道事業は合併以来黒字が続く、ここ数年は毎年40〜50億円の黒字が続いています。昨今の物価高騰に対して、

清水市政は2月「時限的かつ限定的な減額」の方針を発表しましたが、実際には入所型の高齢者・障害者施設の水道料金を4か月間10%値引き(計5000万円分)するだけでした。私は3月3日の本会議で、「県内でも全国的にもこれだけ高い水道料金を取って大黒字なのだから、物価高に関係なく水道料金は抜本的に下げるべきだ」と要求しました。

## 出産祝いに盆栽!? 「盆栽村のPRのため」追及されると慌てて「盆栽のような長寿を」

全国の自治体が様々な子育て支援策を発表していますが、さいたま市は5月から「ミニ盆栽贈呈事業」を始めました。

区役所で出生届を出す引換券が交付され、それを盆栽美術館東側の盆栽協同組合の販売所に持って行く

と、ミニ盆栽が貰えます。さいたま市では年間1万3千人の赤ちゃんが生まれています。そのうち千人が盆栽を取りに来ると見込

みます。盆栽協同組合のアドバンス料込みで200万円の予算を計上しました。市は盆栽を配る目的を「盆栽村百周年の機運を盛り上げるため」「盆栽村への誘客を促進し、地域経済の活性化と産業支援のため」と説明。予算審議で与党議員からも疑問の声が挙がると、慌てて「赤ちゃんの盆栽のような長寿を祈念したい」と言い出しました。

私は3月3日の本会議で「赤ちゃんを育てるので忙しい時に盆栽を配るのは、子育てのためでもお母さんや子どものためでもない。盆栽業者の利権のためだ」と指摘し反対しました。プレゼントは子どもができた親の身になって考えるべきです。

## 候補者の父親が選管委員長!? 辞任求める市民の声が廃案に

民主主義の根幹にかかわる選挙は公平公正に行われなくてはなりません。しかしさいたま市のある区で、立候補予定者(自民党現職)の父親が選挙管理委員会の委員長に就いていることが判明しました。

地方自治法では、選挙管理委員は4人で、各政党が委員を推薦しています。選挙委員長は選挙の時は「選挙長」に就き、選挙の

当選人を決める最高責任者になります。また開票の時に疑問票(例えば「古田一郎」と書かれた票は古田一郎か?)を最終的に判断する開票管理者も兼ねます。地方自治法第189条2では、選挙の「委員長及び委員は、自己若しくは父母、祖父母、配偶者、子、孫若しくは兄弟姉妹の一身上に

関する事件又は自己若しくはこれらの者の従事する業務に直接の利害関係のある事件については、その議事に参与することができない」と明記されています。

### 過去には孫の出馬で選管辞任した委員も

実際に17年には大宮区選出の沢田力(自民党)が政務活動費の不正使用で辞職して選管辞任が行われた時、県選管の秦哲美委員(元民進党県議)は孫の西

山見一氏が立候補するために、選挙の1か月前に辞任しています。私は2月28日、川村準議員(無所属・南区)とともに、候補者の親族は選管委員を辞任するよう求める市民の請願を紹介議員として提出。3月2日の議会運営委員会で緊急審議するよう求めましたが、共産党以外の各政党が拒否。3日の議会最終日には共産党も反対し審議されませんでした。

選挙の結果に疑いをもたれないよう、候補者の身内は深く選挙を退くべきです。

## 今回も市内トップで再選を果たしました 無所属や維新の躍進で議会勢力が一変!?

### 北区の市議選結果

当	吉田 一郎	14575	無所属
当	伊藤 仕	7333	自民党
当	関ひろみ	4807	公明党
当	川崎照正	3545	自民党
当	相川綾香	3544	立憲民主
当	堀川友良	3479	維新の会
当	永井里菜	3213	立憲民主
当	片倉淳平	2760	諸派
当	神田真一	2473	共産党
当	池田 誠	1174	参政党
当	服部光紀	1142	無所属
当	茅野昌文	403	無所属

### 市内全体の得票数上位12人

①	吉田 一郎	14575	無所属	北区
②	石関 洋臣	8826	自民党	緑区
③	浜口 健司	8810	立憲民主	南区
④	添野ふみ子	8481	立憲民主	浦和区
⑤	渋谷 佳孝	8328	自民党	大宮区
⑥	井原 隆	8308	自民党	中央区
⑦	西山 幸代	7882	立憲民主	大宮区
⑧	都築 龍太	7487	自民党	緑区
⑨	北岡 久住	7437	維新の会	浦和区
⑩	伊藤 仕	7333	自民党	北区
⑪	吉村 豪介	7286	維新の会	南区
⑫	高子 景	7045	自民党	見沼区

4月9日投開票のさいたま市議選で、私は「このままでは大宮が危ない」「浦和優先の行政・予算配分の是正」「不正の温泉＝政務活動費の廃止」を掲げて、14,575票を賜りました。今回は候補者が多く「激戦」となった北区ですが、11年と19年に続いて北区のみならずさいたま市全体でもトップ当選を果たすことができました(15年は無投票)。

今回の市議選では、自民・公明・立憲・共産が得票を減らす一方で、今回は当選ゼロだった維新が4議席を獲得。会派に属さない無所属議員もこれまでの2〜3人から7人に増えました。(うち3人は後に「無所属みらい」を結成)

さいたま市議会ではこれまで5人以上の大会派(交渉会派)が議会運営を牛耳ってきました。私は16年前の初当選から一貫して会派に属さない無所属議員として「すべての議員が発言できる議会」を実現するために孤軍奮闘して来ましたが、今後は小会派や無所属議員の「調整役」として、大会派の「談合政治」を打破すべく新たな役割を果たしていきたいと思

吉田一郎は、市長から支給される政務活動費(年間408万円)を受け取らずに活動しています。